

平成 2 7 年 度

主 要 施 策 の 成 果

那 珂 川 町

平成 27 年度主要施策の成果（一般会計）

議会費関係

1 議会開催日数

○定例会	4回	会期日数	34日
○臨時会	3回	会期日数	3日

2 付議事件数

○町長提出	91件				
ρ条例	24件	ρ予算	33件	ρ決算	10件
ρその他	19件	ρ専決、報告	5件		
○議員提出	38件				
ρ条例	1件	・報告	28件	ρその他	9件

3 請願・陳情

○受付件数	13件
○意見書提出	2件

4 一般質問の人数

6月	5人	9月	6人	
12月	6人	3月	8人	計25人

5 委員会

○議会運営委員会	8回
○常任委員会	24回
ρ総務企画常任委員会	5回
ρ教育民生常任委員会	10回
ρ産業建設常任委員会	9回
○広報特別委員会	16回
○議会改革特別委員会	5回
○資格審査特別委員会	2回
○庁舎建設に係る議員懇談会	2回

6 議会報告会

4 会場

57 名出席

平成28年1月22日～2月5日

7 議員派遣

○議員研修

ρ町村議会議員研修会(宇都宮市)

平成27年11月27日

○行政調査

ρ北海道下川町、美瑛町

平成27年6月25日～27日

総務費関係

1 人事関係（一般職員）

(1) 職員数の状況

	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
一般職	195人	192人
技能労務職	8人	4人
計	203人	196人

(注)年度末退職者を除いた人数

(2) 新規採用及び退職数の状況

	新規採用者	退職者
一般職	15人	17人
技能労務職	—	5人
計	15人	22人

2 那珂川町合併10周年記念式典及び那珂川町自治功労者表彰

平成27年10月4日 小川総合福祉センターあじさいホール

(1) 自治功労者等表彰

自治功労者表彰 21名

高額寄付者感謝状贈呈 3名

(2) 那珂川ふるさと大使委嘱 10名

(3) 作文コンテスト表彰

テーマ：那珂川町と私の未来のすがた

最優秀賞 1名

優秀賞 4名

(4) 町のうた制作・披露

「心はふるさと～那珂川町 町うた」

作詞・作曲 工藤慎太郎

3 那珂川町合併10周年記念協賛事業

協賛事業実施団体 7団体

補助対象事業費 4,365,494円

補助金額 1,860,000円

4 地方自治功労叙勲

○高齢者叙勲

岸 一雄 氏 (旭日単光章) 元小川町議会議員

増子 育男 氏 (旭日単光章) 元小川町議会議員

5 町有財産管理事業

庁舎維持管理は経費の節減に努めたほか、町有財産管理では施設等の有効利活用、及び利便性の向上のための事業を実施した。

新庁舎整備については、本体建設工事に着手し、早期完成に向けて事業を推進した。

○町有財産管理

・小口集会所舗装工事 3,910千円

○新庁舎整備事業の促進

・新庁舎建設基本設計、実施設計業務委託(繰越) 50,000千円

・新庁舎建設工事(継続費:H27~H28) 42,000千円

・新庁舎建設工事監理業務委託 5,864千円

・新庁舎付属棟建設基本、実施設計業務委託 7,560千円

・新庁舎情報通信設備整備基本、実施設計業務委託 3,240千円

・山村開発センター第二期解体工事実施設計業務委託 961千円

・新庁舎建設造成、外構設計修正業務委託 1,944千円

6 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

(1)交通安全対策

- 「那珂川町交通事故抑止対策町民の集い」の開催

平成27年9月2日 小川総合福祉センター

(2)交通指導員の設置

- 教育指導員 1名
- 一般指導員 6名

(3)交通安全教育の実施

- 幼稚園・保育園児童対象 63回 2,827人
- 小中学校児童生徒対象 19回 1,030人
- 母親対象 7回 261人
- 高齢者対象 46回 919人

(4)交通安全施設の整備

- 道路反射鏡 2基
- 区画線 1,610m
- 転落防止柵 36m

(5)交通指導車購入 1台

7 地域公共交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、デマンドタクシーの実証運行及びコミュニティバス「馬頭烏山線」を運行した。

(1)デマンドタクシー「なかちゃん号」利用実績

平成26年度	利用者計 (月/人)	運行日数 (日)	1日あたり (人/日)	備考
4月	1,506	21	71.7	
5月	1,336	18	74.2	
6月	1,461	22	66.4	
7月	1,486	22	67.5	
8月	1,355	21	64.5	
9月	1,392	19	73.2	
10月	1,519	21	72.3	
11月	1,328	19	69.8	
12月	1,354	19	71.2	
1月	1,143	19	60.1	
2月	1,306	20	65.3	
3月	1,341	22	60.9	
計	16,527	243	68.0	

☆デマンド交通利用登録者数（平成28年3月31日現在）3,215人

(2) コミュニティバス「馬頭烏山線」の利用実績

○乗車人数 30,807人

○運行日数 361日

8 企画調整・地域振興

(1) 会議等の開催

まちづくりに資する計画の策定及び推進に関する事項を審議するため、町長の諮問機関である那珂川町まちづくり審議会を4回開催した。町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、庁議を12回開催した。

(2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる那珂川町総合振興計画後期基本計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

(3) 第2次那珂川町総合振興計画「なかがわ元気ビジョン」の策定

まちづくりの基本指針となる第2次那珂川町総合振興計画「なかがわ元気ビジョン」の策定を行った。

(4) 過疎地域自立促進計画の進行管理及び新たな5ヶ年計画の策定

過疎地域自立促進計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行うとともに、新たな5ヶ年計画を策定した。

(5) 情報システムの総合管理

マイナンバー制度の施行に伴い、庁内システムの制度対応を図るためのシステム改修を実施した。また、多様化する脅威から情報資産を保護するため、那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

(6) 学官連携の取組み

大学との相互友好協力協定・相互協力協定に基づき、次の事業を行った。

○学校法人宇都宮美術学院宇都宮メディア・アート専門学校

- ・新商品デザイン事業
- ・特産品ガイド「なか通」の作成

○国立大学法人宇都宮大学

- ・町内事業者ロゴマークの製作

○学校法人帝京大学経済学部地域経済学科

- ・那珂川町ドキュメンタリー映像作成

○学校法人国士舘大学

- ・史跡調査

(7)まちづくり3大重点プロジェクト

○「情報通信基盤の活用」推進プロジェクト

第2次那珂川町地域情報化基本計画に基づき、情報通信基盤の有効な利活用を図った。

○「自然・環境との共生」推進プロジェクト

那珂川町環境基本計画後期計画に基づき、環境のまちづくり事業を推進した。

・環境のまちづくり推進会議

◇ 推進会議 2回

◇ 部会（自然環境・生活環境・資源エネルギー・環境学習） 17回

◇ 環境コーナー設置（10月・12月：馬頭図書館内） 2回

・地域資源、再生可能エネルギー施設等視察受入 15団体 243名

・太陽光発電等設備導入補助

◇ 太陽光発電 34件 補助額 5,065千円

◇ 高効率給湯器 36件 補助額 1,650千円

・環境教育用小冊子（漫画）配布

◇ 環境のまちづくり推進会議と町内小中学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校の連携により作成した小冊子を、町内の小学4年生から中学1年生までに配布した。

・環境学習会開催支援 5件

・牛乳パック資源化運動

◇ 町内小学校において給食用牛乳パックの資源化を実施 収集量 782kg

○「行財政改革」推進プロジェクト

第2次行財政改革推進計画に基づき、行財政改革の推進を図った。

(8)土地利用調整

那珂川町土地利用調整基本計画に基づき、適正な土地利用の誘導を行った。

(9)協働によるまちづくり推進事業

○地域住民との協働によるまちづくり推進事業補助金

「地域住民が主役となる社会」、「地域住民が協働する社会」、「地域が自立する社会」を目指して、まちづくり団体に対して補助金を交付した。

◇小砂地区「日本で最も美しい村」 400千円

(10)那珂川町地域振興実践活動事業

“なかがわ元気フェスタ2015”の実施等を「なかがわ元気プロジェクト連絡協議会」に委託した。 4,472千円

(11)「日本で最も美しい村」連合加盟運営費等補助金

小砂Village協議会に対して補助金を交付した。 400千円

(12) 地域おこし協力隊事業

4名を地域おこし協力隊員に委嘱し、自らの創意工夫により地域おこし活動を実施した。 12,417千円

9 広報・広聴

(1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

○広報なかがわ(毎月10日発行) 5,700部/月

(2) 那珂川町公式ホームページの運営

「くらしの情報」、「観光情報」、「生涯学習」、「町のデータ」などの柱をメインに町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。また、ホームページのリニューアルに伴い導入したCMSを活用し、迅速で正確な情報の掲載に努めた。

(3) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

○学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼稚園の設置状況（児童生徒数、教諭の配置状況など）を調査した。

○国勢調査

10月1日を基準日として、町内129調査区のすべての人と世帯を対象として人口の基本的属性、経済的属性などの状況を調査した。

(4) 行政事務連絡等

行政区長・班長を委嘱し、事務執行の協力を得た。

○行政区長 37人

○行政班長 195人

(5) 情報公開等

○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町長	9	9	0	0
農業委員会	1	0	1	0
教育委員会	2	2	0	0

○個人情報保護の運用状況

個人情報の開示請求はなかった。

10 都市交流

(1) 姉妹都市：アメリカ合衆国ホースヘッズ村

- ホースヘッズ村交流事業 平成27年 7月14日～22日 8名
(町内の施設見学や文化交流等)
- 青少年海外体験学習派遣事業 平成28年 3月11日～22日 15名
- 合併10周年記念姉妹都市交流事業(一般公募)
平成27年11月8日～14日 11名

(2) 観光交流都市：東京都豊島区のイベントに参加

- 池袋フォーク&カントリーフェスティバル2015 平成27年 5月30日～31日 6名
- 東京フラフェスタin池袋 平成27年 7月17日～19日 8名
- 豊島区ふくろう祭り 平成27年10月10日～11日 6名

(3) 友好都市：秋田県美郷町

- 教職員交流事業 平成27年 8月27日～28日 8名

11 税務

(1) 町税等収入状況

①町税

(単位：円、%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
町民税	836,628,197	786,368,284	4,278,550	45,981,363	93.99
(1)個人	674,128,497	625,115,284	4,149,150	44,864,063	92.73
現年課税分	621,706,900	610,477,021	78,272	11,151,607	98.19
滞納繰越分	52,421,597	14,638,263	4,070,878	33,712,456	27.92
(2)法人	162,499,700	161,253,000	129,400	1,117,300	99.23
現年課税分	161,433,500	161,002,300	0	431,200	99.73
滞納繰越分	1,066,200	250,700	129,400	686,100	23.51
固定資産税	1,294,616,512	1,011,558,778	11,042,759	272,014,975	78.14
(1)固定資産税	1,287,081,112	1,004,023,378	11,042,759	272,014,975	78.01
現年課税分	955,908,700	931,157,340	184,600	24,566,760	97.41
滞納繰越分	331,172,412	72,866,038	10,858,159	247,448,215	22.00
(2)交付金	7,535,400	7,535,400	0	0	100.00
軽自動車税	50,060,140	45,812,286	502,740	3,745,114	91.51
現年課税分	46,155,400	45,074,800	0	1,080,600	97.66
滞納繰越分	3,904,740	737,486	502,740	2,664,514	18.89
町たばこ税	124,686,083	124,686,083	0	0	100.00

特別土地保有税	6,438,758	0	6,438,758	0	0.00
現年課税分	0	0	0	0	0.00
滞納繰越分	6,438,758	0	6,438,758	0	0.00
入湯税	17,636,810	17,636,810	0	0	100.00
現年課税分	17,636,810	17,636,810	0	0	100.00
滞納繰越分	0	0	0	0	0.00
町税合計	2,330,066,500	1,986,062,241	22,262,807	321,741,452	85.24
うち現年課税分	1,935,062,793	1,897,569,754	262,872	37,230,167	98.06
うち滞納繰越分	395,003,707	88,492,487	21,999,935	284,511,285	22.40

②国民健康保険税

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	690,191,157	516,986,327	12,711,864	160,492,966	74.90
(1)一般被保険者	655,591,578	489,117,674	12,276,640	154,197,264	74.61
医療給付費分 現年課税分	357,615,594	323,682,415	0	33,933,179	90.51
後期高齢者支援金分 現年課税分	100,344,565	90,958,799	0	9,385,766	90.65
介護納付金分 現年課税分	41,372,205	36,602,370	0	4,769,835	88.47
医療給付費分 滞納繰越分	115,510,334	27,183,886	10,580,039	77,746,409	23.53
後期高齢者支援金分 滞納繰越分	25,006,915	6,995,025	608,289	17,403,601	27.97
介護納付金分 滞納繰越分	15,741,965	3,695,179	1,088,312	10,958,474	23.47
(2)退職被保険者	34,599,579	27,868,653	435,224	6,295,702	80.55
医療給付費分 現年課税分	18,319,806	17,151,538	0	1,168,268	93.62
後期高齢者支援金分 現年課税分	5,121,635	4,797,562	0	324,073	93.67
介護納付金分 現年課税分	4,581,295	4,312,764	0	268,531	94.14
医療給付費分 滞納繰越分	4,609,873	1,100,941	335,724	3,173,208	23.88
後期高齢者支援金分 滞納繰越分	1,091,438	270,714	50,900	769,824	24.80
介護納付金分 滞納繰越分	875,532	235,134	48,600	591,798	26.86

③介護保険料

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
介護保険料	352,158,900	345,292,980	1,227,800	5,638,120	98.05
(1)特別徴収	322,540,400	322,699,680	0	△159,280	100.05
(2)普通徴収	29,618,500	22,593,300	1,227,800	5,797,400	76.28
現年課税分	24,422,800	21,144,920	0	3,277,880	86.58
滞納繰越分	5,195,700	1,448,380	1,227,800	2,519,520	27.88

④後期高齢者医療保険料

(単位：円，%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
後期高齢者医療保険料	109,291,000	108,349,900	40,400	900,700	99.14
(1)特別徴収	84,880,200	84,959,300	0	△79,100	100.09
(2)普通徴収	24,410,800	23,390,600	40,400	979,800	95.82
現 年 課 税 分	23,130,600	22,557,600	0	573,000	97.52
滞 納 繰 越 分	1,280,200	833,000	40,400	406,800	65.07

(2)徴収嘱託員収納実績

○徴収嘱託員 1人

○収 納 額 38,550,742円

(3)税務関係証明等

○件 数 4,799件

○手数料 1,129,680円

(4)消費税及び地方消費税の引上げ分に伴う社会保障財源交付金の使途について

○歳入

・ 交付金 148,984,000円

○歳出

・ 障害者福祉費 52,536,000円

・ 老人福祉費 24,607,000円

・ 児童措置費 22,012,000円

・ 母子福祉費 15,229,000円

・ 予防費 23,040,000円

・ 健康増進費 11,560,000円

12 戸籍・住民

住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出の正確且つ迅速な処理を行い、住民票や印鑑証明等の証明発行事務のスピードアップに努めた。戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

○戸籍届出等件数 1,014件(届出539件・送付475件)

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

○証明等発行件数

戸籍関係	9,453件
住民票	9,210件
印鑑証明	5,735件
その他	2,335件

民生費関係

1 福祉団体等への支援

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化のため、福祉団体等の育成・支援を実施した。

○民生委員児童委員への支援	53人	3,719千円
○社会福祉協議会への支援		
◇社会福祉協議会運営費補助金		35,000千円
◇社会福祉協議会事業費補助金		2,397千円
○災害見舞金		
・火事2件		150千円
○臨時福祉給付金	3,037人	18,222千円

2 障害者福祉

障害者の自立更生を推進するため、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

○補装具給付及び修理	33件	2,290千円
○自立支援(更生)医療	40人	25,716千円
○重度心身障害者医療費助成	269人	26,845千円
○特定疾患患者見舞金	139人	4,443千円
○障害者福祉サービス事業	172人	275,457千円
○障害者地域生活支援事業	165人	43,929千円

3 高齢福祉

高齢者の生きがいつくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

○敬老会	17会場・1,105人	6,798千円
○敬老祝金 (80、85、90、95歳)	564人	4,475千円
(100歳)	4人	400千円
○緊急通報システム装置の貸付(H28.3.31現在)	71件	3,027千円
○ねたきり老人等寝具洗濯サービス事業	1人	14千円
○軽度生活援助事業	15人	339千円
○老人福祉施設入所措置(H28.3.31現在)	養護16人	38,188千円
○馬頭総合福祉センター管理運営 利用者	13,692人	18,276千円

- 小川総合福祉センター管理運営 利用者29,519人 28,178千円
- シルバー人材センター運営補助 7,100千円
- 老人クラブ等社会活動推進事業（補助金） 2,400千円

4 国民年金

公的年金（国民年金）の必要性を十分に周知させるため、「広報なかがわ」への掲載等により普及推進を図った。

- 国民年金被保険者数 3,098人
(1号:2,358人、3号:740人 ※H28.3月現在)

5 児童福祉

子育てを行っている家庭を支援し、児童の健全育成を図るため、次の事業を実施した。

- 認定こども園整備事業 31,295千円
- 保育園の運営 106,735千円

園児数内訳 (平成28年3月31日現在 単位：人)

クラス年齢 保育園	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
馬頭中央保育園	9	14	17	21	22	33	116
大内保育園		2	2	10	3	7	24
馬頭南保育園		3	2	3	4	3	15
わかあゆ保育園	12	11	26	37	19	26	131
小計 (うち町外児童)	21 (3)	30 (2)	47 (2)	71 (2)	48 (1)	69 (5)	286 (15)
町外保育園等	—	1	3	2	3	1	10
合計	21	31	50	73	51	70	296

- 放課後児童クラブの運営 10,219千円

入所児童数内訳 (平成28年3月31日現在 単位：人)

小学校 クラブ	馬頭小	馬頭東小	馬頭西小	小川小	計
馬頭放課後児童クラブ	27	4	—	—	31
小川放課後児童クラブ	—	—	—	23	23
合計	27	4	—	23	54

- 子育て支援センターの運営 利用者数2,173人 2,462千円
- 遺児手当の支給 対象児童8人 279千円

○児童手当の支給

区 分	支給月額(円)	延児童数(人)	支給金額(千円)
3歳未満	15,000	2,786	41,790
小学校修了前(第1子・第2子)	10,000	9,416	94,160
小学校修了前(第3子以降)	15,000	1,875	28,125
中学校修了前	10,000	5,135	51,350
特例給付	5,000	194	970
合 計		19,406	216,395

○子育て世帯臨時特例給付金 1,694人 5,082千円

○子ども・子育て会議 4回

○児童虐待防止対策

・要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回
実務担当者会議 12回

○医療費助成事業

事業名	対象人数(人)	助成人数(人)	助成件数(件)	助成額(千円)
こども医療費助成	1,802	1,355	23,137	41,659
妊産婦医療費助成	63	46	456	1,563
ひとり親家庭医療費助成	475	206	3,586	5,066
養育医療費助成	1	1	2	154
育成医療費助成	7	7	17	697

衛生費関係

1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は最重要課題であり、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と、町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を実施した。

(1)健康づくり推進事業

ライフスタイルの多様化に伴い増加している生活習慣病を予防改善するために、栄養・食生活、運動・身体活動の見直しや習慣化について実践できるよう支援した。

○メンバーズらくらく倶楽部 39回 385人

○食生活改善推進員協議会 11回 354人

○その他

◇「広報なかがわ」による啓発活動		12回
◇「福祉まつり」での普及及び啓発活動（減塩食）	1回	130人
（歯と口の健康）	1回	200人

(2)生活習慣病予防対策事業

青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に、健康増進法に基づき、総合的な保健事業を実施した。

また、国の施策である「がん検診推進事業」及び「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」により、特定の年齢のがん検診の自己負担金を無料とし、受診率の向上を図った。

○病態別栄養相談	22回	33人
○訪問指導	随時	13人
○基本健康診査(20～39歳)	26回	339人
○胃がん検診(20歳～)	26回	1,403人
○子宮がん検診(集団検診)(20歳～)	14回	1,120人
（うち、がん検診推進事業受診者	4人）	
○子宮がん検診(個別検診)	6～2月	2人
（がん検診推進事業）		
○乳がん検診(20歳～)	14回	1,509人
（うち、がん検診推進事業受診者	22人）	
○乳がん検診(個別検診)	4回	6人
（がん検診推進事業）		
○大腸がん検診(20歳～)	28回	2,450人
（うち、がん検診推進事業受診者	204人）	
○肺がん検診(20歳～)	26回	2,496人
○前立腺がん検診	14回	893人
○肝炎ウイルス検診	26回	201人
○骨粗しょう症検診	14回	174人
○歯周疾患検診	7～9月	39人
○精神保健相談会	12回	40人
○生活習慣病予防教室「なかがわフィットネス倶楽部」		
	8回	94人

(3) 母子保健対策事業

母子の一貫した健康管理を目指し、母子保健法に基づく健康教育・相談及び各種健診を実施した。また、成長過程におけるさまざまな発達課題に対して、関係機関と連携をとりながら、児の健やかな成長を促すことを目的とした発達障害児支援事業を実施した。

○乳児訪問（こんにちは赤ちゃん事業）	随時	92人
○母子健康手帳の交付	随時	72人
○乳児健診（4か月・8か月）	12回	188人
○1歳児相談	6回	82人
○1歳6か月児健診	6回	77人
○2歳児相談	6回	78人
○3歳児健診	6回	88人
○虫歯予防教室（フッ素塗布）	12回	487人
○妊産婦一般健康診査	随時	1,037人
○きらきらベビークラス	12回	346人
○マタニティクラス	5回	15人
○子ども栄養相談	5回	8人
○小児生活習慣病予防教室（中学校）	2回	123人
○のびのび発達相談	9回	186人
○乳幼児発達相談	18回	47人
○ひまわり教室（早期教育相談グループ教室）	8回	66人
○子育て支援講演会	1回	220人
○ベビープログラム	12回	96人
○思春期教室（小学校4校・中学校2校）	9回	241人
○母子保健推進員研修会	2回	23人
○不妊治療費助成事業	随時	12件

(4) 感染症予防対策事業

結核及び各種感染症の発症予防のため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。また、高齢者の肺炎罹患による重篤化を予防するための肺炎球菌ワクチン、及び妊婦の風しん罹患による先天性風しん症候群を予防するための風しんワクチンの接種費用を助成した。

○定期予防接種	・BCG接種	91回
	ρポリオ	19回
	ρ麻しん・風しん混合	181回
	ρ二種混合	105回

ρ四種混合	3 8 8 回
ρインフルエンザ（高齢者）	4, 2 5 6 回
・肺炎球菌ワクチン（高齢者）	6 3 2 回
ρ日本脳炎	3 7 2 回
・ヒブワクチン	3 2 8 回
・小児用肺炎球菌ワクチン	3 4 2 回
・水痘	1 4 7 回
○任意予防接種の助成	
・肺炎球菌ワクチン（高齢者）	4 3 回
・風しんワクチン	2 回

(5)へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

○対象地区：大内・大那地・小砂	1 8 回	延 1 4 2 人
-----------------	-------	-----------

2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

(1)廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

○廃棄物内訳

ρ可燃ごみ	4, 1 6 2 t	※資源ごみ内訳 ・スチール缶 4 0 t ・アルミ缶 7 t ・ペットボトル 4 3 t ・びん類 1 6 0 t ・紙類 3 9 5 t ・布類 9 6 t
ρ不燃ごみ	2 6 2 t	
ρ資源ごみ	7 4 1 t	
ρ粗大ごみ	1 4 4 t	
ρ有害ごみ	6 t	

○搬入内訳

ρ委託業者収集搬入	4, 4 0 5 t
ρ直接搬入	9 1 0 t

(2)畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

○犬新規登録	4 6 頭
○犬予防注射	8 0 5 頭
○野犬・不用犬引取り	1 3 頭

(3) 浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置に対し補助を行った。

○浄化槽設置整備補助金 40件 15,650千円

(4) 放射能対策

○空間放射線量測定

馬頭図書館及び、小川庁舎において、測定及び結果をHP等に公表した。

○放射線量測定器の貸し出し 3件

○食品の放射性物質簡易検査 26件

3 公園墓地・小川墓地

○公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

○墓地の貸出し(小川墓地) 1件

4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

(1) 河川等の水質検査の実施(30ヶ所、9月及び1月実施)

(2) 騒音、悪臭等の防止対策

(3) 不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

(4) 不法投棄物の回収処理を行った。

(5) 環境美化県民運動の実施(参加者4,401人)

(6) 小型家電リサイクル: 町福祉まつりでイベント回収を行った。(回収件数306点)

(7) 北沢地区不法投棄物処理対策

最終処分場の理解を深めてもらうための先進地視察に協力した。

○最終処分場先進地視察

・(一財) 茨城県環境保全事業団エコフロンティアかさま(茨城県笠間市)

1回36名

5 追悼式・特別弔慰金

(1) 戦没者消防殉職者合同追悼式の実施(参加者188名)

(2) 第10回特別弔慰金(請求受付141件、国債交付38件)

農 林 水 産 業 費 関 係

1 農業委員会

農業委員会等に関する法律に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を行った。

(1) 農地法に係る権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤強化促進法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

○ 農地法 3 条（農地の権利異動等）	4 1 件	1 0 4 筆	13.88ha
○ 農地法 4 条（自己農地の転用）	3 件	3 筆	0.37ha
○ 農地法 5 条（転用での権利設定・移転）	2 9 件	3 2 筆	2.08ha
○ 非農地証明	9 件	1 2 筆	1.16ha
○ 利用集積	1 7 3 件	5 5 9 件	88.85ha

(2) 農地の公的管理主体として、食糧の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図るため、優良農地を対象に農地パトロールを行い、利用状況調査を実施した。

(3) 農業者年金のリーフレットを配布するなどして、制度の普及及び加入推進を行い、年金の適正な受給による農業者の老後の生活安定に努めた。

(4) 関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び農業青色申告制度の普及推進活動を実施した。

2 農業振興事業

農業振興については、中山間地域等直接支払交付事業、多面的機能支払交付事業により地域の振興・環境保全の取り組みや農業担い手の育成など、農地利用の推進事業を行った。東日本大震災関連事業により、農産物の安全・安心キャンペーンを実施した。

イノシン等による農産物被害等の防止・生活環境の保全を図るため、獣害防止電気柵等の導入支援事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業支援 急傾斜地 14 集落 緩傾斜地 51 集落	31,145	交付事業 31,015 推進費 130
多面的機能支払交付事業	農用地、水路、農道等の地域資源 保全のための共同活動支援 取組集落 8 集落	15,521	交付事業 15,380 推進費 141
使用済農業用生産資材適正処理 推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬等 の処理推進	461	総事業費 2,221
とちぎの集落営農確立支援事業	集落営農組織の育成支援	44	総事業費 290

地域農業マスタープラン作成事業	人・農地プラン見直し	70	
県産農産物の安全・安心PR事業	農産物直売所における農産物の安全安心キャンペーンの実施	200	総事業費 433
獣害防止電気柵導入支援事業	電気柵等の導入支援	1,077	総事業費 2,395
農産物モニタリング検査事業	検査農産物提供者への支援	49	
新規就農・経営継承総合支援事業	青年就農者（経営開始型）への支援	3,000	
環境保全型農業直接支援対策事業	生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援	218	総事業費 873
農地集積・集約化対策事業	農地中間管理機構を利用した集積協力者への支援	2,644	
ホンモロコ養殖事業	大山田上郷上組ホンモロコ養殖組合への助成	300	総事業費 951

3 畜産振興事業

J Aなす南和牛部会、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。また、畜産担い手育成総合整備事業が開始された。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留事業、家畜伝染病予防対策事業、畜産団体補助事業、和牛繁殖支援事業、畜産担い手育成総合整備事業	6,631	

4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、用排水路及び農道整備事業を実施した。また、県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業による事業推進を図るとともに、現地調査を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
町単農村振興事業	町単独農村振興事業費補助金 12件	4,152	

県単農業農村整備事業	吉田地区水路整備事業 U型水路 600 * 600 L=488.0m 測量設計一式	12,190	
	小川用水整備事業 U型水路 1200 * 600 L=173.0m 測量設計一式	10,480	うち町補助金 6,806
	中薬利地区水路整備事業 U型水路 400 * 400 L=93.0m 測量設計一式	2,308	うち町補助金 1,265
	西の原用水整備事業 水位計設置一式	1,080	うち町補助金 550
	西の原頭首工整備事業 堰の補修 L=30.0m	805	うち町補助金 160
農業基盤整備促進事業	松野地区農道整備事業 農道舗装 L=947.6m 測量設計一式	26,464	
	富山地区農道整備事業 農道舗装 L=848.1m 測量設計一式 用地買収7筆 物件補償一式	24,874	
	小砂地区農道整備事業 農道舗装 L=1259.3m 測量設計一式	24,056	
	小川地区農業基盤整備事業 ・小川水路工事 U型水路 1200 * 800 L=57.0m ・小川本町水路工事 U型水路 900 * 700 L=56.0m ・芳井水路工事 U型水路 500 * 500 L=151.0m ・高岡水路工事 用水管布設 φ400 L=25.0m	16,556	うち町補助金 2,325
農地耕作条件改善事業	山崎地区水路整備事業 U型水路 600 * 600 L=112.5m 測量設計一式	3,852	
	北向田地区揚水ポンプ整備事業 第一機場整備一式 測量設計一式	5,145	うち町補助金 750
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	三川又頭首工地区整備補修工事	38,497	うち町補助金 4,845
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	35,849	
県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業	県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業負担金	4,500	

5 イノシシ肉加工事業

イノシシ肉処理加工施設を運営し、獣害の軽減及び特産品生産による地域の活性化を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工事業	受入頭数 231頭	11,260	イノシシ肉販売収入 4,700

6 林業振興事業

とちぎの元気な森づくり事業により、里山の景観保全及び維持管理を行うとともに、八溝産材の需要拡大を促進することにより、地域林業の振興を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
森林整備地域活動支援交付事業	施業集約化の促進 7協定 48.5ha	1,200	
	施業集約化に向けた条件整備 4協定 500ha	5,000	
とちぎの元気な森づくり事業	里山の整備 7箇所 60.4ha	10,120	
	里山の管理 35箇所 151.4ha	7,042	
	とちぎの元気な森づくり事業補助金 8箇所 37.4ha	4,750	
林道維持管理事業	鶴居峠御前岩線外3 維持・修繕	1,844	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助 10件	2,368	

◆林業施設利用状況

施設名	利用者数	備考
森林公園特産品生産施設	581人	
観光乗馬施設（ホースランド）	851人	
緑の交流館	415人	

7 放射能対策

○イノシシ肉の放射性物質検査を全頭実施した。

○関係機関とともに農産物、林産物及び水産物における放射性物質の検査を実施した。

○農産物の安全安心キャンペーンを実施した。

商工費関係

1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、商工業振興事業等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

(1) 商工会支援

- 那珂川町商工会経営改善普及事業費補助金 9,750千円
- 商工業振興事業費補助金 1,800千円

(2) 中小企業振興資金融資状況

- 新規貸付件数 69件 197,324千円
- 信用保証料補助額 69件 4,929千円
- 特定中小企業者認定 5号 4件

2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

(1) 観光関連団体への補助

- 那珂川町夢まつり実行委員会 3,000千円
- 那珂川町観光協会 10,729千円
- 馬頭温泉保護開発協会 900千円

(2) 主な観光施設の利用状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村	1,490人	
町営温泉浴場ゆりがねの湯	69,235人	
まほろばの湯	123,524人	
道の駅ばとう	474,000人	推計値
ふるさとの森公園	4,921人	平成27年1月～12月
まほろばキャンプ場	512人	

3 消費者行政

消費者被害拡大防止のために啓発冊子を作成し、役場や関係機関等の窓口に設置した。また、消費者生活相談を大田原市消費者生活センターへ委託して専門の職員の対応とし、専門窓口が設けられたこととお知らせするチラシ配布も行った。その他にシルバー大学学習会において、消費者被害防止啓発として演劇講演会を開催した。

○消費生活相談受付件数 17件

4 開発推進

栃木県企業立地促進協議会等を通じ、情報収集に努め、企業訪問など誘致活動を行った。また、既存立地企業のフォローアップを行い、企業の定着促進を行った。

土木費関係

1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしていることから、地域間の幹線道路や生活道路を整備した。また、都市間を結ぶ主要幹線道路である国・県道の整備を関係機関に要望した。

(単位：千円)

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
改良舗装	76号線	改良舗装工事 L=320.0m W=10.0m 補償一式	94,619	
	和見立野線	改良舗装工事 L=450.0m W=5.0m 用地・補償一式	59,622	うち繰越明許費 28,865
	一渡戸大鳥線	用地測量・法面設計業務 L=676.2m W=11.0m	13,932	
	都新道線	舗装工事 L=305.0m W=10.0m	17,539	
	上郷須賀川線	物件調査業務 L=2,000m W=7.0m 用地・補償一式	11,173	
	田山線	改良工事 L=311.9m W=8.0m 補償一式	32,615	
	愛宕山線	改良舗装工事 L=182.2m W=5.0m 用地・補償一式	29,314	

	薬利後沢線	平面図作成業務 L=2330.0m W=7.0m	6,286	
	太郎荒沢線	道路設計・用地測量業務 L=60.0m W=5.0m 用地・補償 一式	5,215	
	小川運動場線	改良工事 L=265.8m W=10.0m 補償 一式	39,876	うち繰越明許費 38,902
橋梁長寿命化	大松橋	高欄塗装工事	16,416	
	板山橋	補修設計業務	3,542	
	道路施設点検	橋梁点検業務（7橋）	3,262	

2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業（馬頭Ⅸ地区、馬頭Ⅹ地区、大内Ⅰ地区、和見Ⅴ地区）を実施した。

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 馬頭Ⅹ A=1.15k㎡、大内Ⅰ A=0.58k㎡、 複製図作成 馬頭Ⅸ、和見Ⅴ 数値情報化 馬頭Ⅸ、和見Ⅴ	39,202	

3 公園

町民の身近な交流の場として、施設の維持管理に努めた。

（単位：千円）

事業名	事業内容等	事業費	備考
馬頭公園遊具修繕	ジャングルジム等塗装	83	

4 住宅

町営住宅221戸、町有住宅73戸の維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。

（単位：千円）

事業名	事業内容等	事業費	備考
サンコーポラス馬頭大規模改修工事	屋根防水、外壁塗装一式	94,716	
町営住宅外1屋根改修工事	屋根改修：1棟、屋根塗装：5棟	9,904	

消 防 費 関 係

1 火災の概況

平成27年度中の那珂川町における火災出動件数は7件で、前年度に比較して4件の増であった。

発 生 日	場 所 等
5月 8日	和見地内建物火災
6月 1日	小川地内河川敷火災
8月21日	馬頭地内建物火災
8月29日	大山田上郷地内建物火災
1月 2日	大内地車輛火災
2月11日	松野地内建物火災
3月17日	盛泉地内原野火災

2 消防施設の整備

○防火水槽設置 2基

3 消防団点検・訓練関係

(1) 点検

10月11日 那珂川町消防団内点検 出場率 60.6%
10月25日 那珂川町消防団通常点検 出場率 75.2%

(2) 訓練

7月 5日 南那須地区総合水防訓練
9月 6日 水継訓練

4 防災関係

○町災害復旧等支援の状況（平成28年3月31日現在）

・町災害復旧等支援金申請件数 1,207件
・町災害復旧等支援金支払件数 19件（1.5%）
〃 （累計） 1,041件（86.2%）
・町災害復旧等支援金支払金額 1,855,000円

○町地域防災計画の見直し

○防災備蓄品の更新

○水防対策

・ 7月16日 台風11号による警戒

・ 9月10日 関東東北豪雨による災害警戒本部の設置

教育費関係

1 学校教育

(1) 小学校・中学校

文部科学省及び県教育委員会の教育施策を踏まえ、人間尊重の精神を基盤として、豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。町教育基本方針に基づき、特に地域に根ざした調和と特色ある教育行政を課題として、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図るとともに、スクールカウンセラーを配置し教育相談体制の充実を図った。

なお、教育環境の充実と教育施設・教材備品の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

○スクールカウンセラー配置事業	1, 751千円
○小学校教育用コンピュータ機器借上	7, 426千円
○小学校電子黒板機能付プロジェクター等備品費	3, 564千円
○小学校教材備品費	2, 874千円
○小学校就学援助費	3, 910千円
○総合学習推進費	535千円
○中学校生徒通学費補助	685千円
○中学校教育用コンピュータ機器借上	4, 361千円
○中学校教材備品費	1, 114千円
○中学校就学援助費	4, 960千円
○外国語指導助手設置費	7, 063千円
○小学校スクールバス運転業務	35, 173千円
○中学校スクールバス運転業務	12, 416千円
○小川小学校遊具等撤去工事	1, 231千円
○小川小学校フェンス・バックネット改修工事	1, 210千円
○小川小学校遊具設置工事	2, 084千円
○馬頭中学校太陽光発電設備設置工事設計業務	1, 404千円
○馬頭中学校環境整備工事	33, 480千円

- 馬頭中学校放送設備改修工事 2, 138千円
- 馬頭中学校体育館解体工事（繰越） 12, 408千円
- 馬頭中学校環境整備工事設計業務（繰越） 1, 404千円
- 馬頭中学校給水ポンプ交換工事 1, 188千円
- 小川中学校相撲場解体及び周辺整備工事 1, 285千円

(2)通学費等補助

栃木県立馬頭高等学校の生徒の確保と維持存続を図ることを目的に平成26年度、平成27年度に入学した生徒に対し、通学費等の補助を行ない保護者の負担を軽減した。

- 通学費等補助 5, 408千円

(3)幼稚園

幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、家庭では体験できない社会・文化・自然などの体験を十分にさせながら、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った幼児を育てることに努めた。また、幼児教育の向上を図るため、教育内容の改善、施設の整備と教育環境の充実を図った。

- 園児数の状況 (平成28年3月31日現在 単位：人)

クラス年齢	3歳	4歳	5歳	計
幼稚園				
ひばり幼稚園	17	27	23	67
小川幼稚園	12	15	10	37
合計	29	42	33	104

- 子育て支援事業

町内の2歳児とその保護者を対象に、子育て支援事業（親子にこにこクラブ）を開催した。

実施回数 8回 参加人数（延べ）88組176名

(4)学校給食センター

学校給食法の趣旨を踏まえ、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

また、学校給食を活用した食育の推進に努めた。

- 給食実施状況

ρ小学校4校、中学校2校、幼稚園2園、児童生徒職員数1,363人

ρ完全給食 給食実施回数195回（うち米飯116回）

給食実施総食数 249,623食

（幼稚園は、5月より週3日の完全給食（水・木・金）、4月と月・火は牛乳のみの給食を実施。）

(5)放射能対策

○放射性物質検査

・学校給食食材の放射性物質検査

安全で安心な学校給食を提供するため、給食用食材や給食1食（まるごと）について、給食センター（毎週月曜日）及び県（塩谷南那須教育事務所）所有の多機能放射線測定器により定期的に放射性物質（放射性セシウム）の検査を実施した。

2 社会教育

町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境の形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたつて社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成を目的に学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民に活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努めた。さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を養うために地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

(1)生涯学習

将来にわたり「だれでも、いつでも、気軽に」参加することができる新たな学習環境の充実を図るため「那珂川町生涯学習推進2期計画」を策定したほか、生涯学習の啓発・普及を図るため「なかがわ町民大学」を実施した。

○なかがわ町民大学 演 題 何もないところには、資源がいっぱい
講 師 藻谷 浩介 氏 参加者 125名

(2)青少年教育

青少年の社会参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進するとともに、青少年の健全育成に努めた。

○ジュニアボランティアズクラブの育成・指導

○青少年育成協会への支援

○成人式の開催 平成28年1月10日 新成人参加者165人

(3)家庭教育等

家庭教育学級、幼児教育学級、思春期講座を実施し、家庭教育などの重要性について理解を深めるとともに、家庭での実践を促すために親学習プログラムを実施した。

○家庭教育学級 馬頭西小学校・小川小学校・馬頭中学校

○幼児教育学級 馬頭中央保育園・大内保育園・馬頭南保育園・わかあゆ保育園
ひばり幼稚園・小川幼稚園

○思春期講座 馬頭中学校・小川中学校

(4)高齢者教育

高齢者を対象に「シルバー大学」を開設し、集団による学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

○シルバー大学 13回 受講生28人

(5)公民館活動

歴史学習（放送利用講座）や自然体験（ネイチャークラブ）、親子のふれあい（親子絵本づくり事業）、英語にふれあう（ハロウィン英語教室）など幅広い学習の場の提供に努めた。

また、小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、企業などによる会議や研修の場として提供した。

○放送利用講座 8回 受講生 36人

○ネイチャークラブ 2回 参加者 26人

○親子絵本づくり事業 11回 参加者 20人

（絵本展示会1回）

○ハロウィン英語教室 1回 参加者 12人

○小川公民館 利用件数789件 利用人数8,493人

(6)国際交流活動

国際社会への対応と国際理解を深めるため、青少年海外体験学習派遣事業、ホースヘッズ村交流事業、ホームステイウィークエンドin那珂川、合併10周年記念事業としてホースヘッズ村姉妹都市交流事業（一般公募）の4事業を実施した。

(7)芸術文化活動

文化祭の開催や文化団体の育成に努めた。また、馬頭中学校で移動音楽鑑賞教室を実施した。

○文化祭の開催

種 目	期 日	場 所	出展数・参加者数
総合展	10月31日・11月1日	総合体育館	1,068点
菊花展	11月1日～5日	南町駐車場	148点
菊花盆栽展	10月31日～11月3日	あじさいホール周辺	182点
邦楽民謡舞踊祭	10月24日	あじさいホール	50組
歌謡祭	11月21日	あじさいホール	80人

○南那須地区音楽祭の開催（担当：那珂川町）

平成27年10月6日 総合体育館 参加団体数25団体

○移動音楽鑑賞教室の実施

平成27年6月11日 馬頭中学校体育館において「バイオリン、チェロ、ピアノのコンサート」を実施 馬頭中学校生徒 284名参加

○子どもの森の管理

○山村開発センターの管理

(8)文化財保護事業

○文化財保護団体や文化財（技術）伝承者の育成

○文化財国庫補助事業

国指定史跡唐御所横穴保存管理計画策定事業

(委員会開催・管理計画の策定)

出土文化財再整理事業

(震災被害の文化財復旧作業・国士舘大学生:54人(42日間)延べ2,268人参加)

○文化財教室の開催

小中高等学校への歴史学習支援のため文化財教室を開催

- ・6月17日、10月9日、10月20日、11月5日、11月11日

小川小学校第6学年 35名

- ・5月19日

小川小学校第5学年 43名

- ・6月25日、7月7日、7月9日、10月8日、10月15日、10月29日

小川中学校第1学年 42名

- ・1月29日

馬頭東小学校第3学年 10名

- ・2月19日、2月24日

馬頭小学校第6学年 49名

○町内遺跡発掘調査事業

- ・8月3日～23日 那須官衙遺跡第27次調査

(9)美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入館者数(人)
4月1日～4月12日	企画展 青木コレクション展	500
4月17日～5月17日	春季特別展 夏まで待てない!江戸のお化け・妖怪展(前期)	4,544
5月22日～6月21日	春季特別展 夏まで待てない!江戸のお化け・妖怪展(後期)	3,086
6月27日～7月26日	夏季特別展 役者見立東海道五十三駅展(前期)	1,806
7月31日～8月30日	夏季特別展 役者見立東海道五十三駅展(後期)	2,323

9月4日～10月12日	秋季特別展 小林清親展（前期）	2,593
10月17日～11月23日	秋季特別展 小林清親展（後期）	3,797
11月28日～1月11日	企画展 江戸名所と広重展	2,227
1月16日～2月28日	企画展 青木コレクション名品展	2,044
3月4日～3月31日	企画展 秋山庄太郎写真展	1,793
計	特別展3回、企画展4回	24,713

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 名	観覧者数(人)
4月29日～5月5日 6月2日～6月7日	絵手紙展	1,036
9月29日～10月4日	臼井永雄作品展	425
10月20日～10月25日	ノンフェールガラス工房展	310
11月12日～11月15日	写真展「写友 那珂川」	246
3月9日～3月13日	「親子絵本づくり」絵本作品展示会	175
3月15日～3月21日	秋山庄太郎写真芸術協会展	649
計		2,841

○調査研究・教育普及活動

- ・講演会の開催 1回 23人参加
- ・ミュージアムトークの開催（各展覧会） 9回 251人参加
- ・ワークショップの開催 4回 43人参加
- ・第11回那珂川町児童生徒版画コンクール 応募作品数：813点

(10)郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図るため、企画展等を開催した。

○展示会（馬頭郷土資料館）

会 期	展 示 会 名	観覧者数(人)
8月1日～9月6日	第19回企画展 学校の教科書 －教科書からわかること－	946

○展示会関連行事

期 日	展 示 会 名	参加者数(人)
8月1日・8月15日	展示解説	25
8月2日	工作教室 「オリジナルBOOKと 消しゴムはんこをつくろう」	30

○普及啓発活動

- ・古文書講座 毎週第3水曜日開催 全12回 受講生16人
- ・連携事業 南那須特別支援学校による奉仕作業（清掃） 9月24日
- ・刊行図書 「那須のゆりがね」の増刷

○年間入館者数 5,913人 開館日数 304日

(11)なす風土記の丘資料館

史跡・資料等の適切な保存を図り、広く町内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、その学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てるため企画展示、体験活動、普及啓発事業を開催した。

○展示会

会 期	展 覧 会 名	入館者数(人)
9月19日～11月23日	第23回特別展 那須官衙の時代 — 律令期地域社会の移り変わり—	1,357
12月12日～1月17日	特別陳列 申を考古学する	374
2月13日～4月3日	巡回展 栃木の遺跡 —最近の発掘調査成果から—	772
計	特別展2回、特別陳列1回	2,503

○展示会関連行事

期 日	行 事 名	参加者数(人)
10月3日	史跡見学会(福島県いわき市方面)	32
10月17日	合併10周年記念事業 シンポジウム	113
11月7日	巡回展 栃木の遺跡 —最近の発掘調査成果から—	29
	展示解説(9月19日、10月31日、11月23日)	35
12月12日	古代文字講座	26
	展示解説(12月12日、1月11日)	22
2月20日	成果発表会	52
2月20日	遺跡報告会	88
	展示解説(2月13日、3月5日)	28
計		425

○啓蒙普及活動

- ・歴史解説員養成講座 12回 192人
- ・なす風土記講座 8回 471人
- ・マイチャレンジ(職場体験) 2校 4人

・来館団体受け入れ	小学校	67校		2,871人	
	中学校	2校		125人	
	特別支援学校	1校		31人	
	一般団体	12団体		312人	
・体験講座	学校	75校	2,902人		
	個人		230人		
	団体		139人	計 3,271人	
・出前講座	町内小中学校	15回	講義5回	体験講座5回	833人
・土器づくり		18人			
・なす風土記ボランティアなす香	研修会	3回			51人
・古代米	種まき	70人	稲刈り	67人	計 137人

○年間入館者数 10,151人 開館日数 302日

(12) 図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

○図書館奉仕業務の充実

○図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

・受入冊数 2,993冊(うち寄贈970冊)

○視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の充実

○調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実

○教育・保育機関等への団体貸出の促進

○子ども読書活動の推進

○国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実

○「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進

○図書館運営及び活動の調査と研究(図書館協議会)

○ボランティア活動(婦人・高校生)の実施と充実

○年間利用状況

・登録者数 5,489人

・入館者数 30,878人

・図書貸出冊数 81,954冊

○文化事業の開催と文化活動の推進

・お話し会 幼児～小学生対象 62回 492人

・読書会 全町民対象 24回 169人

・ブックスタート	乳幼児・保護者対象	6回	174人
・工作教室	幼児～一般対象	2回	16人
・親子読書教室	幼児・保護者対象	2回	82人
・文芸講演会	一般対象	1回	125人
・教養講座	全町民対象	3回	32人
・夏休みわくわく科学教室	小学生対象	1回	24人

3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

(1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

施設名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体育施設	総合体育館	315	28	21,056
	馬頭西体育館	105	12	1,402
	小川体育館	361	28	15,443
	健武体育館	97	10	2,098
	武茂体育館	39	4	361
	谷川体育館	61	8	768
	大山田体育館	109	5	1,117
	小川南体育館	81	7	1,392
	小川武道館	116	3	975
	小川弓道場	48	1	480
	馬頭運動場	209	13	9,949
	大山田下郷運動場	155	7	3,691
	小川運動場	286	20	18,159
	小川南運動場	235	10	4,333
	小川庭球場	193	6	2,846
	那珂川町民プール	37	-	1,260
合 計	2,447	162	85,330	

(うち夜間照明)	馬頭運動場		104	6	3,442
	大山田下郷運動場		90	5	2,063
	小川運動場		202	8	7,124
	小川南運動場		182	5	3,567
	小川庭球場		120	3	1,287
	馬頭東小運動場		108	4	2,267
	合 計		806	31	19,750
学 校 体 育 施 設	馬頭小学校	校庭	—	—	—
		体育館	103	6	729
	馬頭東小学校	校庭	114	5	2,511
		体育館	65	4	879
	小川小学校	校庭	—	—	—
		体育館	163	6	3,235
	馬頭中学校	校庭	—	—	—
		体育館	50	3	554
	小川中学校	校庭	—	—	—
		体育館	5	1	120
	合 計	校庭	114	5	2,511
		体育館	386	20	5,517

(2) 社会体育活動の推進 (各種体育行事の開催状況)

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
○町民各種大会 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・登山 ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・ゆりがねマラソン大会 ・歩け歩け大会	36	68	2,944
○各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・なすみなみ若鮎駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会 ・南那須地区小学生駅伝競走大会	4	5	171

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(18専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(31支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

また、スポーツ少年団(11団)や総合型地域スポーツクラブの活動支援を行った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

ρスポーツクラブ 69団体 1,045人

ρスポーツ少年団 11団体 218人

○総合型地域スポーツクラブ(まほろばの里スポーツクラブ)の育成

ρ運営委員会の開催 10回

・定期教室 ハワイアンダンス、グランドゴルフ、卓球、3B体操、ウォーキング
ショートテニス

・小学生向け教室 ソフトボール、子ども遊び塾、野球、サッカー

・スポーツ交流会、スポーツセミナー

(4)スポーツの普及活動

○スポーツ講習会の開催

○スポーツ傷害保険の加入促進

○生涯学習カレンダーの発行

災害復旧費関係

局地的に発生した集中豪雨により被害を受けた農地及び農業用施設について、災害復旧事業を実施した。

1 農林水産施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
町単災害復旧事業 (農地・農業用施設)	小川芳井地区農地復旧ほか23件	3,890	

平成 27 年度主要施策の成果（特別会計）

ケーブルテレビ事業

ケーブルテレビ施設の適正な維持管理を行い、インターネット接続サービス、CS有料放送サービスなど情報通信サービスを提供するとともに、自主放送、文字放送により積極的な行政情報等の提供に努めた。

ケーブルテレビ施設の管理運営

○加入者件数	4,687件（76.9%）
ρインターネット接続サービス	1,184件
ρCS有料放送サービス	204件
ρSTBレンタルサービス	95件
○再放送サービス	
ρ地上デジタル放送	9局
ρ衛星BSデジタル放送	9局
ρFMラジオ放送	4局
○CS有料放送サービス	
ρゴルフネットワーク外	30局
○主な事業	
・ケーブルテレビ施設指定管理業務	168,480千円
・ケーブルテレビ機器更新業務	110,376千円
・公衆無線LAN設置業務	1,971千円
・伝送路移設工事	27,881千円
○IT講習会	
ρビデオ撮影講習会	6回
○主な自主制作番組	
ρNewsなかがわTOWN	収録37回 放送150時間／月
ρ企画番組	26回
○生中継番組	
ρ町議会定例会、臨時会	17回
○企画番組	
ρ八溝山周辺地域定住自立圏シンポジウム	2回
ρ中学校入学式（馬頭中、小川中）	2回

○中学校卒業式（馬頭中、小川中）	2回
○みんなで子育て わんぱく広場	5回
・小砂里山体験総集編	1回
・古代信仰の考古学講演会	1回
○那珂川町新採用職員紹介	1回
・花の風まつり	1回
・リクエストアワー	2回
・木村庄之助講演	1回
・南那須地区音楽祭	2回
・烏山高校吹奏楽演奏会	1回
・海外体験学習 ホースヘッズ総集編	2回
・人権講演会	1回
・乾徳寺チャリティ寄席	1回
・ハロー元気っこ	2回
・平成28年那珂川町成人式	1回
・各保育園運動会	4回
・各幼稚園運動会	2回
・各小学校運動会	3回
・各中学校体育祭	1回
・まほろば太鼓打ち初め式	1回
・うた那珂カラオケのど自慢	1回
・那珂川町レポート番組	1回
・邦楽民謡舞踊祭	2回
・ネイチャークラブ サマーキャンプ	1回
・ホースヘッズ姉妹都市交流事業	1回
・都市と里山との交流・体験2015	1回
・6次産業化実践に向けた講習会	1回
・少年の主張発表 南那須地区大会	1回
・介護ネットワーク特別講演会	1回
・立志式（馬頭中、小川中）	1回
○那珂川町合併10周年記念式典・番組	2回
・男女共同参画創作落語講演会	1回
特別企画番組	
○ニュースダイジェスト（上半期、下半期）	

- その他の番組
 - ρ県政のコンテンツ番組 3タイトル
 - ρグリーンチャンネル
 - ρサイエンスチャンネル
- 文字放送
 - ・文字放送（無料） 245件
- 広告放送
 - ρ文字放送（有料） 25件
 - ・年賀文字放送（有料） 4件
 - ρ映像放送 9件

国民健康保険事業

1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。 (単位：千円)

区分	項目	件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
一般被保険者	療養の給付	76,085	1,705,665	1,231,462	430,229	43,974
	療養費	2,398	19,432	13,911	5,255	266
	計	78,483	1,725,097	1,245,373	435,484	44,240
退職被保険者等	療養の給付	5,158	92,094	64,417	26,937	740
	療養費	115	979	685	294	-
	計	5,273	93,073	65,102	27,231	740
合計		83,756	1,818,170	1,310,475	462,715	44,980

2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

- 出産育児一時金 19件 7,980千円
- 葬祭費 25件 1,250千円
- 高額療養費 2,497件 189,455千円
 - ρ一般 2,416件 181,249千円
 - ρ退職 80件 8,201千円
 - ・一般被保険者高額介護合算 1件 5千円
- 移送費 1件 74千円

- 3 国保世帯数、被保険者の状況
- 平均世帯数 3, 0 8 7 世帯
 - 平均被保険者数 5, 7 5 1 人

4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策の状況は、次のとおりである。

- 特定健診(40歳以上) 1, 5 5 7 名
- 特定保健指導 9 6 名
- 医療費通知 延べ15, 2 2 9 通 (6回実施)
- 人間(脳)ドック(35歳以上) 3 5 8 名

後期高齢者医療事業

高齢者の適切な医療費の確保を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療給付を実施した。

- 栃木県後期高齢者医療広域連合納付金 1 7 0, 7 3 1 千円
- " 負担金(一般会計分) 8, 6 1 1 千円
- 医療給付費負担金(一般会計分) 1 7 3, 4 8 5 千円
- 平均被保険者数 3, 3 3 4 名
- 健康診査受診者

医療機関健診	8 8 0 名
集団健診	4 9 0 名

介護保険事業

第6期介護保険事業計画(H27～H29年度)により、介護保険事業の更なる充実に努めた。

1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、平成27年度末現在5, 945人であった。

2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請は、1, 131件であり、これらを調査したのち、認定審査会にて審議され認定した。なお、平成27年度末の認定者数は1, 126人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数(平成27年度末)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	47	60	—	302	252	196	148	99	1,104
2号被保険者	—	1	—	5	8	5	2	1	22
計	47	61	—	307	260	201	150	100	1,126

3 利用及び給付状況

介護サービスの利用件数及び給付費について、その主な内訳は次のとおりである。

○居宅介護サービス給付費	12,466件	613,329千円
○地域密着型居宅介護サービス給付費	1,259件	204,555千円
○施設介護サービス給付費	2,561件	621,448千円
ρ介護老人福祉施設	1,951件	453,718千円
ρ介護老人保健施設	490件	126,745千円
ρ介護療養型医療施設	120件	40,985千円
○居宅介護福祉用具購入費	69件	1,607千円
○居宅介護住宅改修費	30件	3,330千円
○居宅介護サービス計画給付費	6,774件	87,965千円
○介護予防サービス給付費	917件	20,544千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	15件	892千円
○介護予防福祉用具購入費	10件	247千円
○介護予防住宅改修費	7件	973千円
○介護予防サービス計画給付費	792件	3,479千円
○高額介護サービス費	3,263件	30,089千円
○高額医療合算介護サービス費	175件	4,221千円
○特定入所者介護サービス給付費	2,550件	100,073千円

4 地域支援事業

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、以下の事業を実施した。

(1) 介護予防特定高齢者施策

要支援・要介護になるおそれの高い者等の把握と介護予防事業(通所型・訪問型)を実施した。

○二次予防事業における対象者把握事業

検診申し込みと合わせて、65歳以上に「基本チェックリスト」を配布・回収し二次予防事業における対象者の把握決定を行った。

ρ基本チェックリスト実施者		526人
ρ医療機関検診（参加の可否確認）	7～9月	883人

○通所型介護予防事業

把握された特定高齢者を対象に、「運動機能の向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」を目的とした介護予防教室を実施した。

ρ前期教室	15回	316人
ρ後期教室	15回	173人
ρ転ばん運動教室（継続）	27回	501人
ρ運動サロン（5地区）	43回	539人

○訪問型介護予防教室

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある特定高齢者を対象に、専門医による相談会と保健師による訪問を実施し、必要な相談、指導を実施した。

ρ精神保健相談会	12回	40人
ρ保健師による訪問指導		40人

(2)介護予防一般高齢者施策

一般高齢者を対象として、介護予防に関する知識の普及・啓発と、介護予防ボランティアの育成を行った。

○介護予防普及啓発事業

各单位老人クラブや町社会福祉協議会の事業と連携し、転倒予防のための運動指導を実施した。

ρ那珂川おたっしや会	33回	442人
ρふれあいいきいきサロン（中央、各地区）	9回	145人

○地域介護予防活動支援事業

介護予防ボランティア「ほとなかがわ」の育成と教室への協力。

ρ新規ボランティア研修会	2回	16人
ρ介護予防ボランティア・スキルアップ研修	2回	28人
ρ介護予防教室への協力	104回	450人

(3)介護予防ケアマネジメント事業

高齢者及び要介護認定において要支援1・2となった対象者の介護予防プランの作成を実施した。

○高齢者介護予防プラン作成（二次予防）	38人
---------------------	-----

○要支援 1・2 の者の居宅介護予防支援 延 7 8 6 件（内委託 1 3 7 件）

(4) 総合相談支援事業

介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談や高齢者虐待に対する相談、指導の実施と介護支援専門員への指導

○介護相談件数 3 3 8 件

○高齢者虐待対応 4 件

○権利擁護（相談件数） 4 件

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

○事例検討会の開催 実人数 1 0 人（延 4 3 人）

(6) 任意事業

○地域自立生活支援事業（生活援助員派遣事業）

高齢者等へのホームヘルパー派遣

時間：5 4 時間 委託先：那珂川町社会福祉協議会

○家族交流会（ほっとすぺーす）

専門医による「認知症の基礎知識」の講話や、精神保健福祉士による対応の仕方の講話、又認知症の方が利用する施設の見学等を実施。介護家族者交流の場とする。

開催回数：8 回 参加者：7 4 人

○認知症サポーター育成事業

「認知症サポーター講座」を実施し、地域で認知症者を支えるサポーターの育成を図った。

開催回数：6 回 参加者：1 6 9 人

○介護事業者ネットワーク会議

開催回数：6 回 参加者：1 2 8 人

○生活支援体制整備事業研究会

介護保険改正に伴い、平成 2 9 年 4 月から実施する生活支援体制整備事業について、本町に適した整備方法を研究した。

開催回数：1 回 参加者：1 3 人

○紙おむつ購入助成事業

在宅で常時紙おむつを使用する要介護 1 以上の者に対し、紙おむつ購入に要した経費を助成した。 6 4 2 件 7, 0 1 1 千円

○地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び、次年度の活動予定の承認

開催日：平成 2 8 年 3 月 2 4 日

下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。概要については、次のとおりである。

(1) 整備事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管渠工事L=60.0m(馬頭地内) (硬質塩化ビニール管φ125)	1,080	
	舗装復旧工事L=45.0m(小川地内)	972	
	公共ます設置工事5箇所(馬頭地内)	1,369	

(2) 施設管理の状況

項目	単位	馬頭処理区	小川処理区
処理区域面積	ha	105	84
処理区内人口	人	1,753	2,706
水洗化人口	人	844	2,305
水洗化率	%	48.1	85.2
水洗化戸数	戸	401	883
年間処理水量	m ³	120,304	273,624
1日平均処理水量	m ³	329	750

農業集落排水事業

農業用水の水質保全、生活環境の改善を図るため、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項目	単位	北向田地区	三輪地区
処理区域面積	ha	33.0	16.3
処理区内人口	人	417	323
水洗化人口	人	405	303
水洗化率	%	97.1	93.8
水洗化戸数	戸	135	91
年間処理水量	m ³	72,820	28,260
1日平均処理水量	m ³	199	77

簡易水道事業

簡易水道事業として供用されている8施設における水道水の安定供給および施設の維持管理に万全を期した。また、渇水対策として那須烏山市との緊急連絡管布設工事が完了した。

(1) 主な整備事業等

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
南部簡水緊急連絡管布設工事	PPφ40、L=605.5m(連絡管) 水位調整弁φ40 1式	8,866	
中部配水池改修工事	仕切弁φ100、150、200、 防水シート 1式	16,934	
白久地内送配水管布設替工事 5工区	HPPEφ100、L=307.4m(送水管) HPPEφ100、L=307.1m(配水管)	7,949	
小砂立野地内配水管布設替工事 その2	HPPEφ75、L=136.3m 地上式消火栓 1基	5,800	
小砂導水場導水ポンプ電動弁交換工事	電動弁 2基 逆止弁・仕切弁 各2基	3,963	
大月橋橋梁添架工事	SUS100A、L=14.3m DIP(K)φ100、L=7.9m	3,521	
小砂仲郷送水ポンプ更新工事	水中渦巻ポンプφ40 2基	2,808	
小砂来目木加圧ポンプ更新工事	多段渦巻ポンプφ40 1基	1,242	
小砂導水場フェンス張替工事	ネットフェンス、L=59.0m 排水ポンプ 1基	1,879	
地下式消火栓嵩上げ工事	地下式消火栓 8基	5,206	

(2) 施設管理の状況

項目	小砂地区	富山地区	矢又地区	大那地区	中部地区	北部地区	南部地区	西部地区	計
給水人口 (人)	1,047	296	216	130	3,487	1,025	1,376	215	7,792
給水戸数 (戸)	373	111	76	51	1,364	339	458	82	2,854
年間総配水量 (m ³)	98,251	24,522	23,112	10,021	398,520	99,902	93,500	25,873	773,701
年間総給水量 (m ³)	80,700	21,926	17,957	7,708	336,898	85,066	78,540	21,510	650,305
有収率(%)	82.14	89.41	77.70	76.92	84.54	85.15	84.00	83.14	84.05

1日平均配水量 (m ³)	269	67	63	27	1,092	274	256	71
1日平均給水量 (m ³)	221	60	49	21	923	233	215	59
1人1日当り平均配水量 (ℓ)	257	227	293	211	313	267	186	330
1人1日当り平均給水量 (ℓ)	211	203	228	162	265	227	156	274